



その想い



第7号

発行人：谷泰智
29年3月1日発行

★ 仏教青年会の^{タクハツ}托鉢に参加してきました



昨年暮れの12月7日、高知県仏教青年会の托鉢に初参加させていただきました。

本山修験宗の托鉢においての正装は、鈴懸^{スズカケ}と呼ばれる山伏装束です。ですから画像でもお分かりのように、私ただ一人が異常に目立ってしまいました。(笑) この日はテレビカメラも取材に来てくれており、夕方のニュースで取り上げられ、私も大きく写っていたそうです。

以前から高知県仏教会には所属していたのですが、青年会にはこの托鉢行事を通して、新たに加えていただきました。様々な宗派の副住職さんなど、比較的若手の僧侶の方々とお近づきになれて、一層御縁が広がりました。今後も横のつながりを広げ、現代に歩み寄った仏教を模索していきます。

5月8日(月)午後2時から、県民文化ホール(グリーン)にて『現代人のための仏教』と題された講演会が僧侶の釈徹宗師をお招きして開かれます。入場無料ですので是非！

★ 『般若心経解説』は好評をいただきました

何の色気もない、ただ般若心経の中身について解説するという行事を1月28日の護摩の日に行いました。

お四国参りをきっかけに、般若心経を暗記してしまったという方も少なくないと思いますが、その反面、どんな内容なのかについては未だ多くの方に知られておりません。そこで今回、自作の資料3枚を用いながら、普段お経にご縁のない方でも、僅か90分足らずで、般若心経の内容が解ってしまうという行事を企画実行しました。

もし、般若心経に興味がお有りの方がいらっしゃいましたら、お気軽に護国寺迄お問い合わせ下さい。どなたでも無料で資料をお渡しします。

※経典をお求めの方はお気軽に護国寺までお電話ください。



1200円程度でお買い求めいただけます。

読み下しの般若心経も収録されています。

★ 是非、^{ケンチャヒガンエ}献茶彼岸会にお越しく下さい

去年大変好評を頂きました献茶彼岸会を、今年も3月20日の月曜祝日(10時と2時)に開催いたします。

故人様のお位牌あるいはお写真、そしてできればお茶碗を持参いただけると有難いです。堅苦しさの全く無い、和気あいあいとした彼岸会です。(^^)



去年の様子



★ お彼岸のこと(後編)※ 第五号の前編の続きです。

まずは、阿弥陀如来という仏様が治めているのが西方極楽浄土であり、西方とは字の通り西の遙か彼方であるという点を踏まえて下さい。そしてそこに、春分秋分の両日は、太陽がほぼ真西に沈むという事実を重ねて、頭の中でイメージしてみてください。

つまり、真西に太陽が沈む時、思わず足を止めてしまうあの美しい夕焼けの向こうに、大昔の日本人は極楽浄土を見出したのです。確かに、夕焼けは美しいですが、どこか胸を締め付けられるような哀愁を感じずにはられません。その哀愁とは単に、夜が訪れることを厭う人間の生物としての本能からのものではないでしょうか？ 否、夕焼けの光は阿弥陀の光明^{コウミョウ}となり、我々の内に秘められた仏性を照らしているのではないのでしょうか？ そうして仏性が開かれた時、我々は大切な亡き人達を想い、『繋がりたい』と願います。穏やかな季節に穏やかな心で、どうか故人様にお参り下さい。